

高浜原発と美浜原発(美浜原子力PRセンター) に行ってきました！！

11月17日(土)、京都の会の会員等5人で福井県の若狭湾沿岸の高浜原発と美浜原子力PRセンターに見学に行ってきました。

福島原発事故から7年半以上が過ぎましたが、今だ事故の原因は明らかになっておらず、8万もの人がふるさとに帰れずにいます。それにも拘わらず、事故後停止されていた京都市内から60キロ圏内に位置する高浜や大飯の原発は、それぞれ4基中2基が運転を再開しています。一旦、事故を引き起こせば未曾有の取り返しのつかない被害をもたらす原発がどんな場所にあり、事業者がどんなPRをしているのか、興味をもって参加しました。

高浜原発は、京都府の舞鶴市に隣接する若狭湾西部の内浦半島のつけ根にあり、原発に隣接する内浦湾には漁港がありました。半島の先には集落がありましたが、集落につづく道は原発に隣接して一本あるだけで、他に道は見あたりません。原発事故が起きた場合、どうやって避難すればいいのでしょうか？ 逃げ道は海上しか見



再稼働中の高浜第3、第4号基



再稼働に向け工事中の高浜第1、第2号基

あたりませんでした。津波や大地震が起きた場合、避難は到底無理だと素人ながら感じるものでした。

美浜原子力PRセンターには、原発の仕組みや安全性を強くアピールする模型が、ところせまし



美浜原子力発電所



原発の模型の見学

と展示されていました。知らない人が見学し説明を受ければ、恐らく原発は安全で必要なものと思わされるのではないかと思います。

PRセンターでは、女性スタッフの勧めもありバーチャル映像で美浜原発構内の見学も行いました。ここでも、スタッフから原発は二重にも三重にも安全を確保していると説明が繰り返されました。テロ対策にも万全を期しているとの説明があったことから、「万が一核兵器等で原発が攻撃されたらどうするのか、心配でたまらない」と質問したところ、横に控えていた年配の男性スタッフが、「それは、政治が解決すること」と述べ、回答をはぐらかしていました。

若狭湾周辺の町々には、原発マネーで造られたと思われる豪華な施設があちこちに見られ、何とも複雑な気持ちになりました。(I)

【当面の主な行事案内】

○11/6～12/16(日) 2018年秋期特別展 AUGUST 6 9:30～16:30(月曜休館)

立命館大学国際平和ミュージアム1階中野記念ホール 入場料400円

○11/24(土) 「このままでいいの？農林水産行政」農政懇全国集会 11:00～ 農民連会議室(東京)

○11/24(土) 2018年憲法記念秋のつどい 防災と憲法 18:30～ハートピア京都 参加費500円

○11/25(日) 原発ゼロ京都アピール講演会 14:00～ 立命館大学衣笠キャンパス末川会館講義室

(竹本修三京大名誉教授、安齋育郎安齋科学・平和事務所長、渡辺輝人弁護士、倉林明子参議院議員)

○11/25(土) 森友問題が私たちに投げかけるもの 13:30～ 京都教育文化センター 資料代500円

○11/30(金) 不都合な日本の真実「日米地位協定とは何なのか？」 18:30～ 京都教育文化センター

○12/1(土) わら草履、しめ飾り、わら亀作り 10:00～ 「会」事務局

参加費：わら細工500円、懇親会1000円(会員・田んぼ作り参加者と子ども無料)

○12/8(土) あいば野演習場砲弾誤射抗議緊急集会(仮称) 14:00～ 滋賀県今津駅前 住吉公園

○12/8(土) 2018年不戦のつどい 13:30～ 京都市職員会館「かもがわ」2階大会議室

○12/12(水)～16(日) 沖縄米軍基地パネル展 (12/12(水) 14:00～12/16(日) 15:00予定) 「会」事務局

○12/15(土) 第64回事務局会議&基地関連DVD学習会&忘年会 14:00～ 「会」事務局

(14:00～事務局会議、15:30～DVD学習会、17:00～忘年会)

○12/15(土) 平和をもたらすものは何か 講演&対談(高山佳奈子京大教授、福山和人弁護士)

14:00～ 京都大学法経済学部本館1階第7教室

○12/19(水) 許すな憲法9条改憲 街頭宣伝&デモ 18:30～ 京都市役所前

○12/23(日) 「アジアに恒久平和を築くために」学習講演会

13:30～ 京都大学吉田キャンパス(吉田南構内総合人間学部棟1102教室) 参加費800円